腫瘍医科学研究室・戦略セミナーのお知らせ

がんの診断と治療は最先端の技術および機器だけでなく、特に放射性同位体を用いた方法が極めて有効であり、これを用いて Diagnostics と Therapy を同時に適応可能な Theranostics というアプローチが主流になりつつあります。このようながんの診断と治療に精力的に取り組んでいらっしゃる梅田泉先生にセミナーしていただけることになりました。Cutting edge な展開を基礎から応用まで講義していただける予定です。このセミナーは腫瘍医科学研究室が主催する大学院講義（細胞生物学特論Ⅱ）の時間中に開催いたしますが、受講していない方々にも有意義な内容となっております。教員、大学院生、学部学生の皆様もぜひご参加ください。

日時：　12 月 17 日（木）15 時 20 分～16 時 50 分

場所：　２２０３講義室

講師：　**梅田　泉 先生**
国立がん研究センター 先端医療開発センター 機能診断開発分野
ユニット長

演題：　**分子イメージングによるがんの診断と治療**
－Seeing is Curing－

要旨：

「分子イメージング」は、生体内での様々な生理的プロセスを生きたままに可視化・定量化する手法である。従来のがん診断は、レントゲンや CT などによる形態情報に基づくところが大きいが、増殖能（グルコース取込能）など、がんの生理機能を可視化することで、形態的な異常が認識されるより前にがんを診断することができる。分子イメ-ジング手法はさらに、放射線治療や化学療法に対する抵抗性の予測や、分子標的薬の標的となる病変の有無の診断等を可能にすると期待されている。病変を可視化することができれば、治療の最適化に貢献し、また治療効果を直接評価することもできる。本講演では、がんを可視化し、治療に繋げる我々の試みを紹介したい。

主催：　腫瘍医科学研究室

連絡先：　吉松 康裕　(yoshimat@toyaku.ac.jp)

共催：　私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
「オルガネラ接触場の形成機構と破綻による疾患」